

令和 2 年度（2020 年度）「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所 属 名	佐世保市立山澄中学校	作成者	職名	教頭
電話番号	(0956) 31—3366		氏名	辻 義孝
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）				
4 月	実施テーマ	○服務規律の意識高揚 ○交通法規の遵守 ○飲酒運転の根絶		
①管理職による服務規律の遵守啓発 ②服務規律委員会の発足 ③運転免許証、車検の有効期限（更新）等の確認 ④平日の酒席開催自粛 ⑤不祥事防止の宣誓書作成 ⑥管理職へ酒席後の帰宅手段申告				
<u>取組状況チェックリスト</u> ☐ 不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。 ☐ 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。				
<u>取組の評価・改善点</u> ・年度当初の学校経営説明の中で、校長が不祥事根絶についての思いを語り、全職員の心にもしっかりと刻むことができた。 ・不祥事根絶に向けた宣誓書を作成し、職員室内の職員が常に目にする場所に掲示することで、意識付けを継続させることができた。				
7 月	実施テーマ	○体罰の防止 ○セクハラ・パワハラ・わいせつ行為の未然防止 ○個人情報セキュリティ対策の徹底 ○飲酒運転の根絶		
① 職員研修の実施 研修：部活動、生徒指導における体罰防止に関する留意事項の確認 研修：わいせつ行為に係る事例、自己分析チェックシートの実施 ② 6 月 1 日通知「佐世保市立学校におけるハラスメントの防止等に関する要綱等の一部改正について」2 学教第 392-2 号を回覧。 ③ 7 月 15 日通知「パワーハラスメントをはじめとする各種ハラスメントの防止に向けた対応について」2 教学第 502-2 号を回覧。 ④ 生徒個人情報の学年別管理係の指名 ⑤ 書類作成に関わる情報の校外持ち出し禁止 ⑥ 管理職へ酒席後の帰宅手段申告				
<u>取組状況チェックリスト</u> ☐ 不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。 ☐ 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。				
<u>取組の評価・改善点</u> ・校内研修をととして不祥事根絶に対する思い、取組を確認することができた。 ・わいせつ行為に関する自己分析チェックシートを実施することで、当事者意識を高めることができた。 ・コンプライアンス通信を全職員に配付し、不祥事防止に対する情報を共有できた。 ・生徒指導については常に複数であたるなど、体罰防止に向けての取組が実践できた。 ・個人情報の管理については、校外への持ち出し厳禁とし、外部からの持ち込みについてはウィルスチェックを徹底するためその方法を研修で再確認した。また、職員室の机上の整理も併せて徹底した。				
12 月	実施テーマ	○飲酒運転の根絶 ○公金等の不正処理の防止		
① 飲酒の機会についての事前報告。4 人以上での飲酒の禁止。 ② 酒席の自粛と移動手段として公共交通機関の利用の徹底 ③ 各種会計監査の徹底（校長・教頭の立ち会いの下で） ④ 職員研修の実施 研修：公金の処理に関わるトラブルについて 職員への服務規律啓発標語の募集（優秀賞 3 作品を職員室に掲示）				

取組状況チェックリスト ☐ 不祥事根絶に向けて職員の意識が維持・継続される心に届くような取組だったか。 ☐ 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組だったか。	
取組の評価・改善点 ・年末年始の酒席を自粛した。 ・冬季休業前の諸帳簿提出において、複数チェックを基本とし、管理職も必ず目を通して適正な処理を確認した。 ・全職員で標語に取り組み、意識の高揚を図ることができた。	
2 服務規律委員会	
委員会名	山澄中学校服務規律委員会
構 成 員	所属内委員（10名 構成員：校長・教頭・教務主任・学年主任・生徒指導主事・養護教諭・情報教育担当 ※スクールカウンセラー） 外部委員（4名 役職等：学校評議員）
活動内容 (主なもの)	・年間の取組（4月・7月・12月）についての確認。 ・不祥事防止に対する取組を行う上での情報交換
	活動内容の評価・改善点 ・委員会のメンバーが校内の管理職、主任クラスで構成されているため、全職員に取組の詳細を伝達しやすかった。 ・外部委員との調整に苦慮した。
3 年間を通しての計画の達成状況	
年間を通しての取組状況チェックリスト ☐ 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。 ☐ 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。 ☐ 自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。	
年間を通しての取組の評価・改善点 【評 価】 ・年度当初の計画通り実施することができた。 ・取組の開始時には、校長の思い、考えを伝え、服務規律の意識を高揚させることができた。 ・定期的に具体的な不祥事防止の取組を提示し確認することで、細かいことでも見逃さない職場環境、雰囲気構築された。 【改善点】 ・計画がある程度固定化されているので、取組がマンネリ化、形骸化しないように、常に新鮮な思いで取り組む必要がある。 ・口頭の呼びかけ以外にも、掲示物等への工夫など視覚的にも訴えた。	
■ 管理職員による職員に対する指導状況 （不祥事発生に伴う「綱紀の保持」の通知があった場合に全所属が記入します。）	
① 指導年月日：令和2年4月6日（通知日：令和2年4月3日2教学第14号） ・不祥事根絶に向けて、職員会議において、校長が決意を語る。 ・「不祥事防止のための教育長緊急メッセージ」の文書の配布 ・宣誓書を作成し、全職員に配布した。 ② 指導年月日：令和2年6月18日（通知日：令和2年6月16日2教学第453号） ・教職員の綱紀の保持について校長指導及び通知文書の回覧。 ・コンプライアンス通信VOL98を配付。 ③ 指導年月日：令和2年7月9日（通知日：令和2年6月17日） ・夏季休業日における教職員の服務及び学校管理について校長指導。 ④ 指導年月日：令和2年12月3日（通知日：令和2年11月25日2教学913号） ・令和2年度冬季休業日における教職員の服務及び学校管理について ・冬季休業日中の服務及び学校管理について校長指導及び文書の回覧、配布。	

